

学びのひろば

第7号 H30. 1. 9

(学力向上委員会)

☆小学生とスマホ、SNS について☆

子供にスマホを持たせるリスク

①対面でのコミュニケーション能力が身につかなくなる

小学生は相手との関係を築きながら、様々なことを学ぶべき時期です。軽い意味で言った言葉が、どれほど相手を傷つけたか、相手の表情の変化を見て理解する体験は、心の成長に欠かせない経験です。

②親の知らない「つながり」ができる

親には全く見えないところで、次々と新しいつながりが発生します。つながりの数にこだわる子もいます。子どもの成長とともに親にみえないつながりができるのは自然ですが、無制限に広がるツールを与えているリスクを念頭に置いておきましょう。

スマホを使わせる上で子どもに教えた5つのこと

① 話し言葉と書き言葉の違いを教える

きちんと自分が意図することを相手に理解してもらえるように文字にできるか。「一度は読み返して相手はどう受け止めるだろうか」と考えさせるように教えましょう。

② 使っていい時間を明確にする

食事中は使わないなど家庭内のルールを設定しましょう。

③ インターネットや SNS にはリスクが伴うことを説明する

課金や違法なダウンロードなど、よくわからないまま利用してしまうケースもあります。個人情報簡単に漏れてしまう危険性も具体的に教えましょう。

④ 対面での会話の重要性を説く

表情や仕草を見て話しながら、相手の気持ちを察する力が、いかに大切であるかを教えましょう。

⑤ 料金が発生していることを理解させる

毎月料金が発生し、親が支払いをしているのだから、親が携帯を管理するのは当然と立場をはっきりさせましょう。

スマホやタブレットはこれからの時代に必要なツールのひとつですが、あくまで道具であるのだと早くから繰り返し教えましょう。道具は使い方を知ってこそ便利なのです。ツールに振り回されるのではなく、使いこなせるように。安全な方法、我が家のルール、潜む危険はきちんと子どもに教えていきましょう。